

横浜国立大学

保健管理センター 年報

第 39 号

(平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月)

横浜国立大学 保健管理センター

Center for Health Service Sciences



YNU C.H.S.S.

2019.3.31

目 次

I. 保健管理センターの概要

1. 沿革
2. スタッフ
3. 業務概要
4. センター施設
 - 平面図
 - 外観
 - 受付・待合ロビー
 - 診察室
 - 相談室
 - 処置室・休養室
 - 会議室

II. 学校保健

1. 学生一般健康診断
 - 1) 実施の流れ
 - 2) 実施状況
 - 3) 結果概要
 - ・ BMI
 - ・ 血圧
 - ・ 尿所見
 - ・ 胸部レントゲン所見
 - ・ 内科診察所見
2. 体育系部活動健康診断
 - 1) 実施の流れ
 - 2) 実施状況

Ⅲ. 職域保健

1. 教職員定期健康診断

1) 実施の流れ

2) 実施状況

2. 特殊健康診断

1) 実施の流れ

2) 実施状況

3. 産業医面談

1) 超過勤務者面談実施状況

2) 職場復帰支援面談実施状況

Ⅳ. 診療・カウンセリング業務

外来担当表（図）

1. 一般診療

1) 月別診療件数

2) 疾患別診療件数

2. 精神科診療・心理カウンセリング

1) 月別件数

Ⅴ. 論考

学生のメンタルヘルス

Ⅵ. 研究業績

1. 著書・論文

2. 学会発表等

3. 研究助成金

Ⅶ. その他

講義、講演、委員会 等

おわりに

I. 保健管理センターの概要

1. 沿革

昭和 39 (1964) 年 8 月	横浜国立大学学生健康相談所設置に関する暫定内規（昭和 39 年 7 月 29 日決済）により、清水ヶ丘地区に学生相談所を設置。
昭和 39 (1964) 年 9 月	経済学部保健室、横浜分校保健室を統合整備し、清水ヶ丘地区内に学生健康相談所中央保健室として業務を開始。
昭和 39 (1964) 年 9 月	清水ヶ丘地区内に学生健康相談を開設、業務を開始。
昭和 40 (1965) 年 1 月	学芸学部鎌倉校舎が焼失したため、清水ヶ丘キャンパスに移転。学芸学部保健室を中央保健室に統合。
昭和 48 (1973) 年 4 月	大学保健管理センターを設置。学生健康相談所の業務を保健管理センターに移管、同相談所を廃止。工学部（弘明寺地区）に分室を設置。
昭和 49 (1974) 年 8 月	統合移転により、清水ヶ丘キャンパスから常盤台キャンパスに移転。
昭和 50 (1975) 年 3 月	常盤台キャンパス内に、保健管理センターの建物が竣工。
平成 11 (1999) 年 1 月	保健管理センター内に、身体障害者用トイレを増設。
平成 17 (2005) 年 12 月	保健管理センター内改修工事（診療室の増設他）を施行。
平成 22 (2010) 年 7 月	保健管理センターの英語表記を、それまでの Health Service Center から、Center for Health Service Sciences に変更（Health Service Center は通称として使用）。
平成 23 (2011) 年 4 月	健康診断証明書の自動発行システム導入。
平成 24 (2012) 年 7 月	保健管理センターの場所が、キャンパス中央（S5）に増改築された建物（学生センター）の 1 階に移転。
平成 24 (2012) 年 9 月	男女共同参画事業に付随するカウンセリング事業開始。
平成 27 (2015) 年 3 月	男女共同参画事業に付随するカウンセリング事業終了。

2. ス タ ッ フ

所長・教授	大 重 賢 治	(医師)
准 教 授	藤 川 哲 也	(医師)
講 師	杉 山 明 子	(臨床心理士)

看 護 師	楠 本 多 美	
看 護 師	對 間 梢	
看 護 師	熊 谷 美智代	

非常勤医師	藤 川 美登里	(精神科医師)
非常勤医師	川 越 泰 子	(精神科医師)
非常勤医師	石 井 美 緒	(精神科医師)

非常勤カウンセラー	松 本 菜 智	(臨床心理士)
非常勤カウンセラー	生 田 かおる	(臨床心理士)

3. 業 務 概 要

保健管理センターの業務は、大きく三つに分類される。学校保健業務、職域保健（産業保健）業務、そして診療・カウンセリング業務である。

学校保健に関する業務として、学生定期健康診断と体育系部活動等所属学生健康診断がある。学生定期健康診断は、4月に全新入生および全在校生を対象として実施している他、10月にも秋入学の学生を対象として実施している。体育系部活動等所属学生健康診断は、夏に開催される大会に向けて、例年6月に実施している。

職域保健に関する業務として、人事・労務課と協同して、教職員を対象とした一般定期健康診断、有機溶剤や電離放射線の取り扱い者（教職員および学生）を対象とした特殊業務健康診断、超過勤務者産業医面談、休職者の復職支援等の業務を行っている。一般定期健康診断は、例年6～7月に実施し、7～8月にかけて事後措置（有所見者の面談、医療機関紹介等）を行っている。特殊業務健康診断は前期（5～6月）に1回、後期（12月）に1回実施し、結果が出次第、有所見者への面談を実施し、状況に応じて、再検査もしくは医療機関受診の指示を行っている。

一般診療は、常勤医師2名が分担して行っている。精神保健については、常勤臨床心理士1名、非常勤臨床心理士2名、非常勤精神科医師3名の体制で実施している。一般診療、精神保健とも、スタッフそれぞれの専門性を生かしつつ、有機的に連携しながら、診療・カウンセリングを実施している。

保健管理センターの概要

平成30年度 保健管理センター業務 年間スケジュール

区分 月別	行 事	内 容	対 象
平成30年 4月～5月	学生定期健康診断*	問診票記入、身長・体重、視力検査、聴力検査(会話法)、血圧・脈拍数測定、尿検査、胸部X線間接撮影、内科診察	全学生（新入生および在学学生）
	事後措置	血圧、尿再検査、聴力検査（オーディオメーター）、胸部X線直接撮影、心電図検査、内科診察、精密検査のための病院紹介、身体的・心理的相談、健康診断証明書発行、保健指導	有所見者
5月～6月	前期特殊健康診断*	有機溶剤、電離放射線、紫・赤外線、塵肺、病原体、特定化学物質、その他の有害物質取扱者及びVDT作業者に対する諸検査	教職員、学生（左記有害物質取扱者）
	事後措置	再検査、精密検査のための病院紹介	有所見者
6月	体育系部活動等所属学生健康診断	体脂肪測定、血液検査（血球検査、肝機能、腎機能、血中脂質、血糖）、心電図検査、問診、内科診察	体育系部活動等所属学生（定期健康診断受診者）
	事後措置	再検査、精密検査のための病院紹介、運動可否判定	有所見者
6月～7月	教職員定期健康診断*	問診票記入、身長・体重・腹囲測定、視力検査、聴力検査（オーディオメーター）、血圧・脈拍数測定、尿検査、血液検査、胸部X線間接撮影、心電図検査、便潜血検査、上部消化管造影検査、婦人科検診（乳房超音波検査、子宮細胞診）、内科診察	教職員
	事後措置	再検査、精密検査のための病院紹介	有所見者
10月	10月入学生定期健康診断	問診票記入、身長・体重、視力検査、聴力検査（会話法）、血圧・脈拍数測定、尿検査、胸部X線間接撮影、内科診察	学生（10月入学大学院生等）
	事後措置	血圧、尿再検査、体脂肪測定、聴力検査（オーディオメーター）、胸部X線直接投影、心電図検査、内科診察、精密検査のための病院紹介、身体的・心理的相談、健康診断証明書発行、保健指導	有所見者

区分 月別	行 事	内 容	対 象
1 2 月	後期特殊健康診断*	有機溶剤、電離放射線、紫・赤外線、塵肺、病原体、特定化学物質、その他の有害物質取扱者及びVDT作業者に対する諸検査	教職員、学生（左記有害物取扱者）
	事後措置	再検査、精密検査のための病院紹介	有所見者
平成31年 1月～3月	各種健康診断結果集計		
	次年度保健管理計画作成		
通年	●年報作成		
	●入学予定者健康診断	書類審査	入学予定者
	●教職員採用時健康診断(毎月)	書類審査、教職員採用時健康診断	採用者
	●一般外来診察・心理相談・保健指導	保健管理センターにおいて、医師、臨床心理士、看護師等によって行う	学生、教職員
	●各種大学行事救護		学生、教職員、一般参加者等
	●心肺蘇生法講習会 (本学労働安全衛生委員会主催、保健管理センター協力)	1年に2回(6月、11月)、1回3時間 保土ヶ谷消防署隊員による心肺蘇生法及び自動体外式除細動器(AED)の使い方の指導	教職員、学生
	●長時間労働者面接指導	産業医	教職員
	●教職員復帰支援	産業医、精神科医、カウンセラーによる休職者の復帰支援	メンタル不調により休職した教職員
	●労働安全衛生委員会	月1回開催 産業医	
	●メンタルヘルス部会	随時開催 保健管理センタースタッフが出席	

*財団法人神奈川県労働衛生福祉協会と業務契約を結び実施

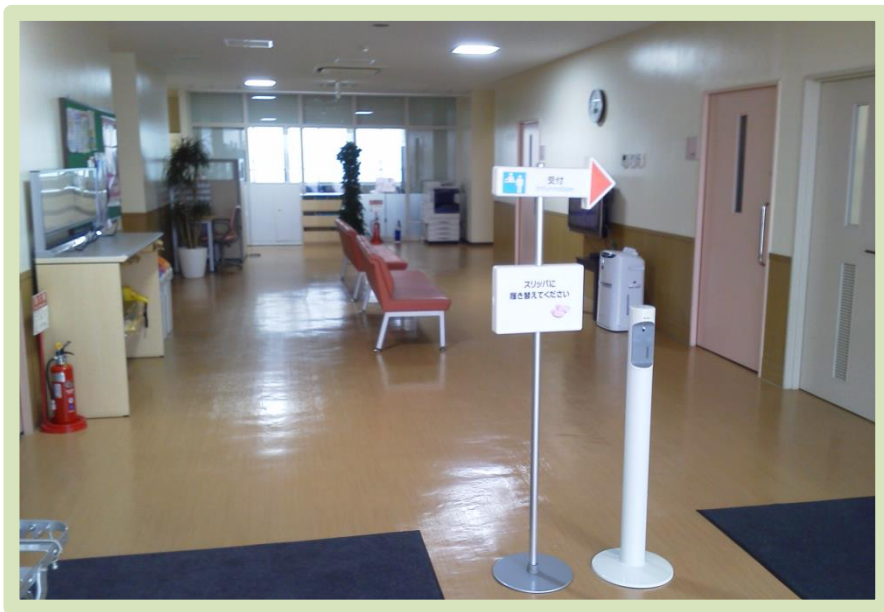
4. センター施設



平面図



外観



受付・待合ロビー



診察室 1



診察室 2



相談室



処置室・休養室

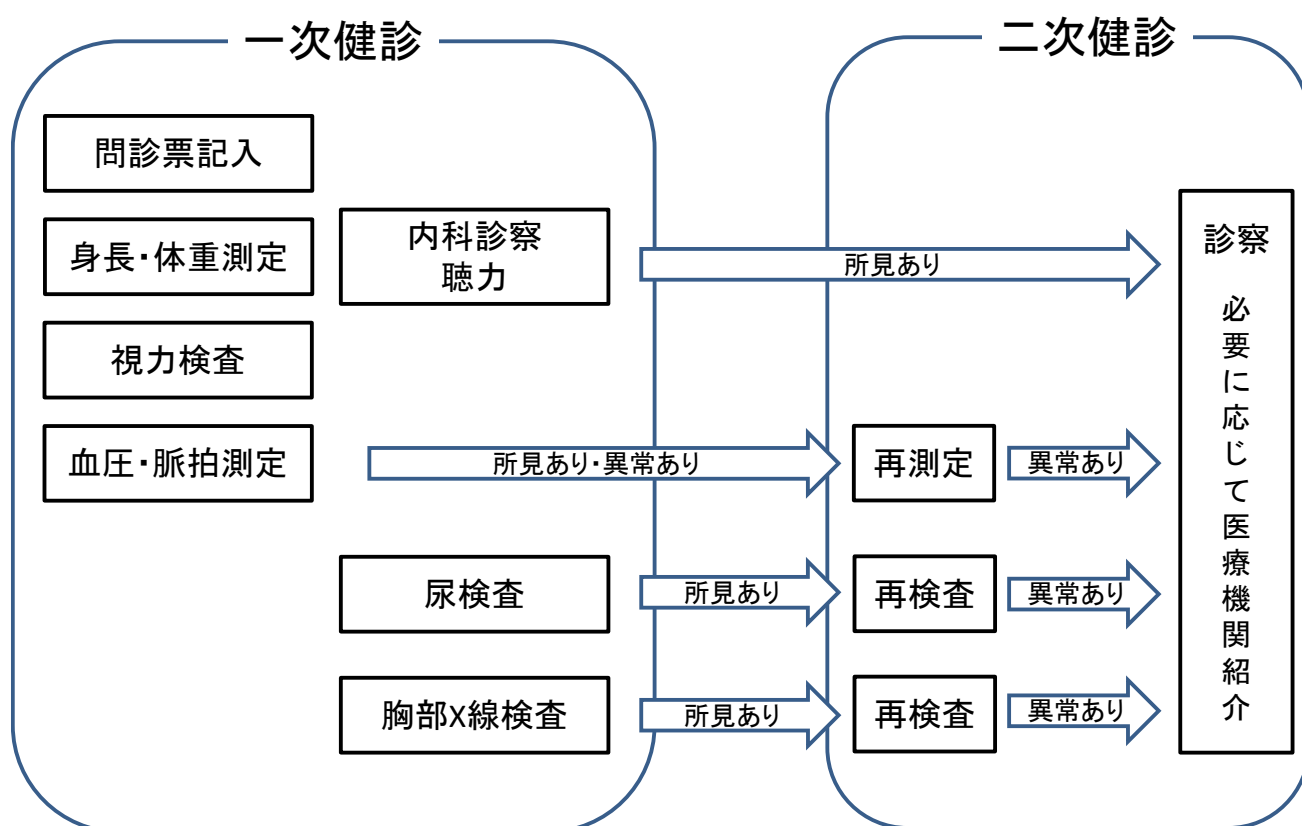


議室

Ⅱ． 学校保健

1. 学生一般健康診断

1) 実施の流れ



《一次健診で行われる、血圧測定、尿検査、胸部×線検査（間接撮影）にて異常所見が認められたものは、後日、再検査が実施される。再検査においても異常が認められた場合、保健管理センターの医師による診察が実施され、必要に応じて外部の医療機関への紹介がなされる。一次健診での内科診察で再診察が指示された場合も同様に、保健管理センターの医師による診察が行われる》

2) 実施状況

学部生

		一年生		二年生		三年生		四年生		計
		男	女	男	女	男	女	男	女	
経済学部	学生数	205	54	200	54	186	58	279	78	1114
	受診者数	197	53	61	17	81	23	119	47	598
経営学部	学生数	207	96	187	104	191	106	258	115	1264
	受診者数	204	95	83	34	83	31	107	66	226
経営学部(夜間主)	学生数					20	11	34	24	89
	受診者数					13	0	14	10	37
理工学部	学生数	569	99	567	108	628	150	815	164	3100
	受診者数	558	98	249	35	293	101	437	99	1870
教育人間科学部	学生数					183	216	232	253	884
	受診者数					139	154	142	158	593
教育学部	学生数	106	131	113	120					470
	受診者数	105	129	112	116					462
教育学部 臨時教員養成課程	学生数	10	10							20
	受診者数	9	9							18
都市科学部	学生数	135	105	161	96					497
	受診者数	134	104	72	38					348
計	学生数	1232	495	1228	482	1208	541	1618	634	7438
	受診者数	1207	488	577	240	609	309	819	380	4152
	受診率	98.0	98.6	47.0	49.8	50.4	57.1	50.6	59.9	55.8

大学院生（修士・博士前期）

		一年生		二年生		三年生		計
		男	女	男	女	男	女	
教育研究科	学生数	58	54	56	64			232
	受診者数	47	47	25	33			152
国際社会科学府	学生数	51	64	57	80			252
	受診者数	37	58	26	60			181
国際社会科学府・法曹実務	学生数	6	3	9	1	12	7	38
	受診者数	6	3	7	1	7	3	27
工学府	学生数			295	56			351
	受診者数			240	47			287
理工学府	学生数	321	54					375
	受診者数	293	48					341
環境情報学府	学生数	125	37	155	53			370
	受診者数	112	36	94	34			276
都市イノベーション学府	学生数	66	33	102	51			252
	受診者数	60	32	87	41			220
計	学生数	627	245	674	305	12	7	1870
	受診者数	555	224	479	216	7	3	1484
	受診率	88.5	91.4	71.1	70.8	58.3	42.9	79.4

大学院生（博士後期）

		一年生		二年生		三年生		計
		男	女	男	女	男	女	
国際社会研究科	学生数					8	5	13
	受診者数					0	0	0
国際社会科学府	学生数	8	3	10	8	38	23	90
	受診者数	5	1	3	4	17	6	36
工学府	学生数			31	3	58	9	101
	受診者数			13	1	18	8	40
理工学府	学生数	30	3					33
	受診者数	15	3					18
環境情報学府	学生数	18	5	29	9	72	26	159
	受診者数	11	3	14	2	11	6	47
都市イノベーション学府	学生数	4	3	13	4	26	18	68
	受診者数	4	3	8	2	12	8	37
計	学生数	60	14	83	24	202	81	464
	受診者数	35	10	38	9	58	28	178
	受診率	58.3	71.4	45.8	37.5	28.7	34.6	38.4

非正規生・他

		男	女	計
研究生	学生数	55	71	126
	受診者数	6	8	14
その他の学生	学生数	76	85	161
	受診者数	7	3	10
計	学生数	131	156	287
	受診者数	13	11	24
	受診率	9.9	7.1	8.4

総計

		男	女	計
総 計	学生数	7075	2984	10059
	受診者数	4397	1918	6315
	受診率	62.1	64.3	62.8

学生一般健康診断

1. 対象及び方法

平成 30 年 5 月 1 日における本学の学部及び大学院在籍者を対象とした。各数値はその分布および取得されうる範囲から明らかに外れる場合は除外した。年齢は平成 30 年 4 月 1 日時点での年齢をもちいた。Body Mass Index (体格指数：BMI, kg/m^2) は体重(kg)を身長(m)の二乗で除して算出した。身体計測、血圧、胸部レントゲン、内科診察所見のデータを有す解析可能なケースを対象とした。年齢については区分を設け、18~24 歳は 1 歳刻み、25 歳以上は一括とした。これらの年齢階層に満たない場合は最も低い階層として扱った。

2. 項目別評価

2. 1 BMI (平均、標準偏差、やせ・肥満の数・割合) — 男女別

BMI は体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数である。身長及び体重は自動測定器を用いて計測した。BMI による体格の分類は $18.5 \text{ kg}/\text{m}^2$ 未満をやせ、 $18.5 \text{ kg}/\text{m}^2$ 以上 $25.0 \text{ kg}/\text{m}^2$ 未満を普通、 $25.0 \text{ kg}/\text{m}^2$ 以上を肥満とした。

性別および年齢階層別の BMI (平均±標準偏差) および各体型の割合を表 1 に示す。BMI は男女ともに 25 歳以上で最も高値であった。

表 1 BMI (kg/m²) 体格

性別	年齢	BMI		やせ	普通	肥満
		平均	標準偏差	割合	割合	割合
男	全体	21.4	3.0	13.1%	75.3%	11.6%
	18	21.0	2.8	16.6%	74.7%	8.7%
	19	21.2	2.9	13.6%	76.6%	9.9%
	20	21.2	2.8	14.1%	75.4%	10.5%
	21	21.0	2.7	14.2%	78.6%	7.2%
	22	21.4	2.9	11.7%	78.6%	9.6%
	23	21.6	3.3	11.5%	76.1%	12.3%
	24	22.1	3.2	9.6%	72.7%	17.6%
	25	23.7	3.7	5.6%	60.3%	34.1%
女	全体	20.5	2.5	19.7%	76.2%	4.0%
	18	20.2	2.0	19.3%	78.6%	2.1%
	19	20.4	2.1	19.4%	79.2%	1.4%
	20	20.6	2.2	15.7%	80.8%	3.5%
	21	20.2	2.2	22.9%	74.3%	2.9%
	22	20.3	2.3	22.6%	74.4%	3.0%
	23	20.5	3.1	22.5%	73.4%	4.0%
	24	21.0	3.5	21.3%	73.8%	5.0%
	25	21.6	3.8	16.5%	68.1%	15.4%
総計		21.1	2.9	15.1%	75.6%	9.3%

2. 2 血圧（平均、標準偏差、血圧高値者の数・割合）－男女別

座位安静下に自動血圧測定器を用いて、収縮期血圧、拡張期血圧を測定した。解析可能な一次検査の測定値を対象とし分析した。高血圧の基準は WHO（1978 年）の専門委員会報告の境界域高血圧のレベル（収縮期血圧 140～159mmHg、拡張期血圧 90～95mmHg）以上とした。日本高血圧学会の高血圧治療ガイドライン 2014（JSH）を用いた基準でも評価し、高血圧を正常高値（収縮期血圧 130～139mmHg、拡張期血圧 85～89mmHg）以上とした。低血圧の基準は収縮期血圧 100mmHg 未満とした。

性および年齢別の血圧の平均値と標準偏差を表 2-1 に示す。性別ごとの高血圧と低血圧の割合を表 2-2 に示す。

表 2-1 収縮期血圧 拡張期血圧（mmHg）

性別	年齢	収縮期血圧		拡張期血圧	
		平均	標準偏差	平均	標準偏差
男	全体	118.5	10.8	66.8	8.6
	18	116.9	10.4	64.5	7.9
	19	117.8	10.9	65.3	8.4
	20	118.1	11.1	65.7	8.3
	21	118.6	10.5	67.0	8.4
	22	118.9	10.7	67.8	8.4
	23	120.2	11.0	69.0	8.4
	24	120.4	10.8	69.5	8.6
	25	120.7	10.7	71.8	9.7
女	全体	108.6	10.0	64.3	7.8
	18	107.5	9.3	62.5	7.0
	19	108.2	9.8	63.6	7.2
	20	108.3	10.2	64.0	7.4
	21	108.7	9.6	64.5	7.5
	22	108.3	9.2	64.6	7.8
	23	109.9	10.3	65.2	7.8
	24	109.9	11.0	66.3	8.9
	25	109.7	11.9	67.0	9.3
総計		115.5	11.5	66.1	8.5

表 2-2 高血圧と低血圧

性別	WHO 分類				JSH 分類					
	収縮期血圧高値		拡張期血圧高値		収縮期血圧高値		拡張期血圧高値		収縮期血圧低値	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男	35	0.79%	20	0.45%	759	17.2%	137	3.1%	173	3.9%
女	2	0.10%	2	0.10%	65	3.4%	32	1.7%	366	19.0%
総計	37	0.58%	22	0.35%	824	13.0%	169	2.7%	539	8.5%

2. 3 尿所見

尿検査は受診時に採尿した随時尿に対し、臨床検査技師が Siemens 社「ライフスティックス」を用いて施行した。検査結果は尿糖、尿蛋白、尿潜血のいずれも、陰性(－)および偽陰性(±)は「－」、陽性は「＋」、「++」、「+++以上」のカテゴリーで集計した。一次検査で異常所見を呈した場合、早朝尿を検体とした二次検査の所見を結果として用いた。性および年齢別の検査結果は表 3-1～3-3 の通りである。

表 3-1

尿糖									
性別	－		＋		++		+++以上		全体
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
男	4402	99.9%	2	0.05%	1	0.02%	2	0.05%	4407
女	1927	99.9%	1	0.05%	0	0.00%	1	0.05%	1929
総計	6329	99.9%	3	0.05%	1	0.02%	3	0.05%	6336

表 3-2

尿蛋白									
性別	－		＋		++		+++以上		全体
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
男	4393	99.7%	7	0.16%	6	0.14%	1	0.02%	4407
女	1920	99.5%	2	0.10%	6	0.31%	1	0.05%	1929
総計	6313	99.6%	9	0.14%	12	0.19%	2	0.03%	6336

表 3-3

尿潜血									
性別	－		＋		++		+++以上		全体
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
男	4383	99.5%	6	0.14%	12	0.27%	6	0.14%	4407
女	1863	96.6%	15	0.78%	36	1.87%	15	0.78%	1929
総計	6246	98.6%	21	0.33%	48	0.76%	21	0.33%	6336

2. 4 胸部レントゲン所見

胸部レントゲン検査で異常所見を有す有所見者の人数およびその割合を、男女別に表 4 に示す。有所見の内訳として主たるものは骨異常影、肺野異常影、胸膜異常影であった。

表 4

胸部レントゲン					
性別	受診者	有所見者		要精検・受診	
	人数	人数	割合	人数	割合
男	4405	148	3.36%	7	0.16%
女	1924	106	5.51%	2	0.10%
総計	6329	254	4.01%	9	0.14%

2. 5 内科診察所見

内科診察所見で異常を有す有所見者の人数とその割合を、男女別に表 5 に示す。診察項目は貧血、甲状腺、前頸部軟部組織、皮膚所見等であり、一つ以上の異常所見があることを有所見とした。

表 5

内科所見有無			
性別	受診者	有所見者	
	人数	人数	割合
男	4408	15	0.34%
女	1930	37	1.92%
総計	6338	52	0.82%

2. 6 喫煙状況

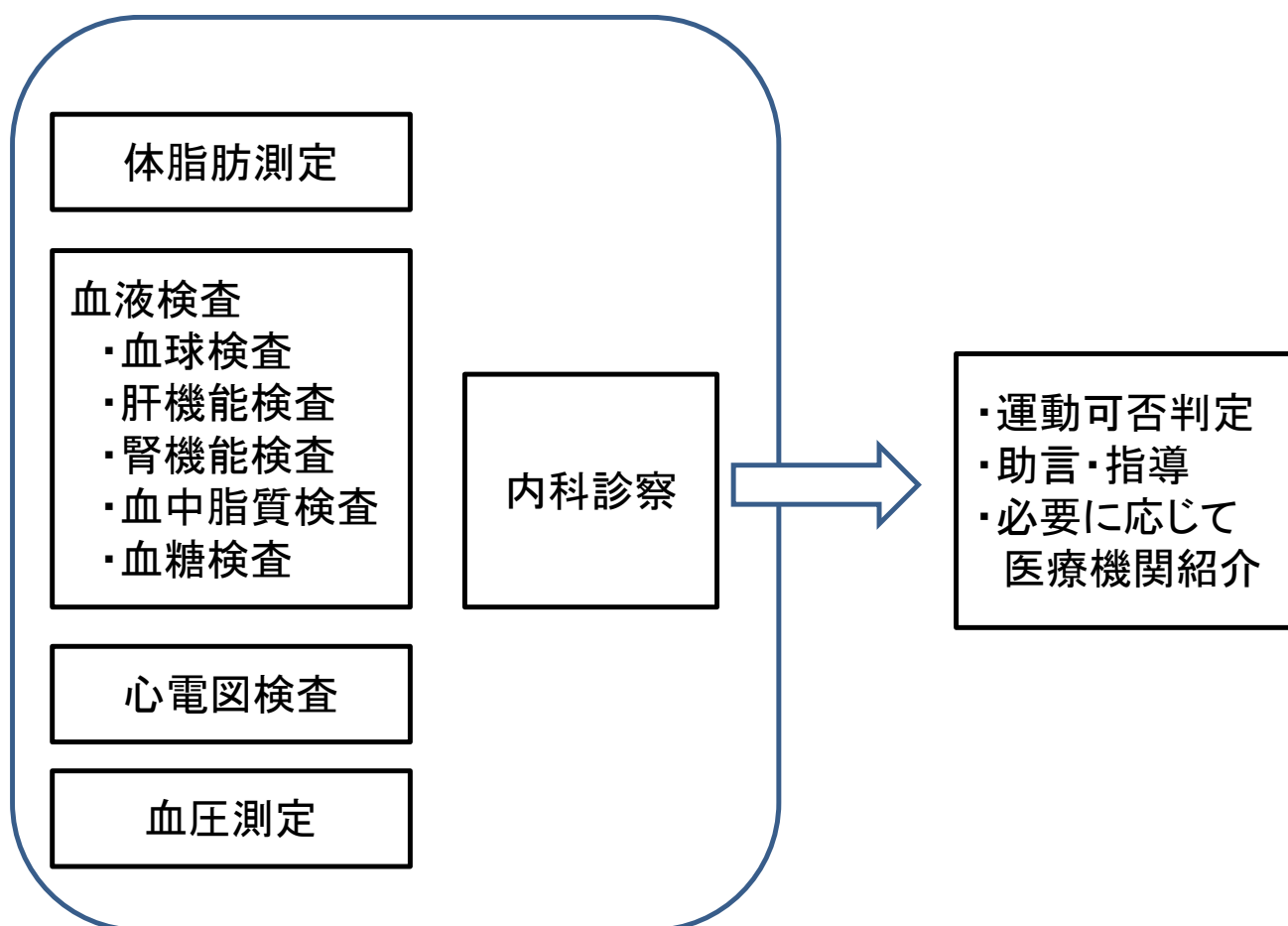
喫煙者の割合を、男女別に表 6 に示した。男子学生の喫煙率は女子学生と比べて高かった。

表 6

喫煙		
性別	非喫煙	喫煙
男	93.5%	6.5%
女	99.0%	1.0%
総計	95.2%	4.8%

2. 体育系部活動健康診断

1) 実施の流れ



《保健管理センターにて、血圧測定、心電図検査、血液検査および医師による内科診察を実施し、運動の可否を判断。専門医の判断等が必要な場合、外部医療機関へ紹介》

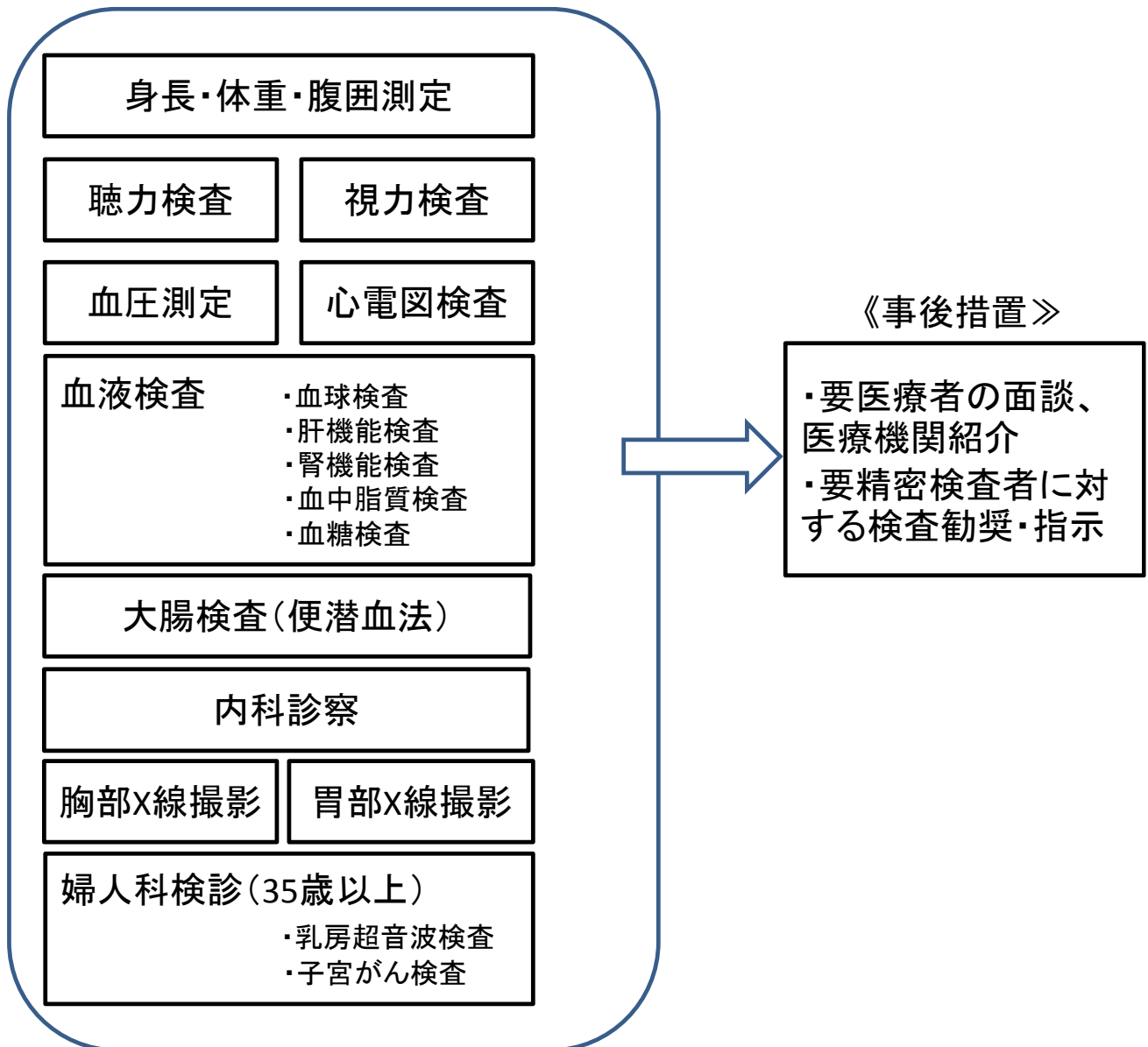
2) 実施状況・結果

部名	受診数(人)	運動可(人)	運動不可(人)
空手部	10	10	10
計	10	10	10

Ⅲ. 職域保健

1. 教職員定期健康診断

1) 実施の流れ



《学内（校内）に契約業者が入り、健康診断を実施。保健管理センター医師が内科診察に参加。要医療者の面談、要精密検査者に対する検査勧奨・指示などの事後措置を保健管理センター医師が実施。教職員は、事業所内で実施される定期健康診断の代わりに人間ドックでの健診の選択も可能》

2) 定期健康診断実施状況

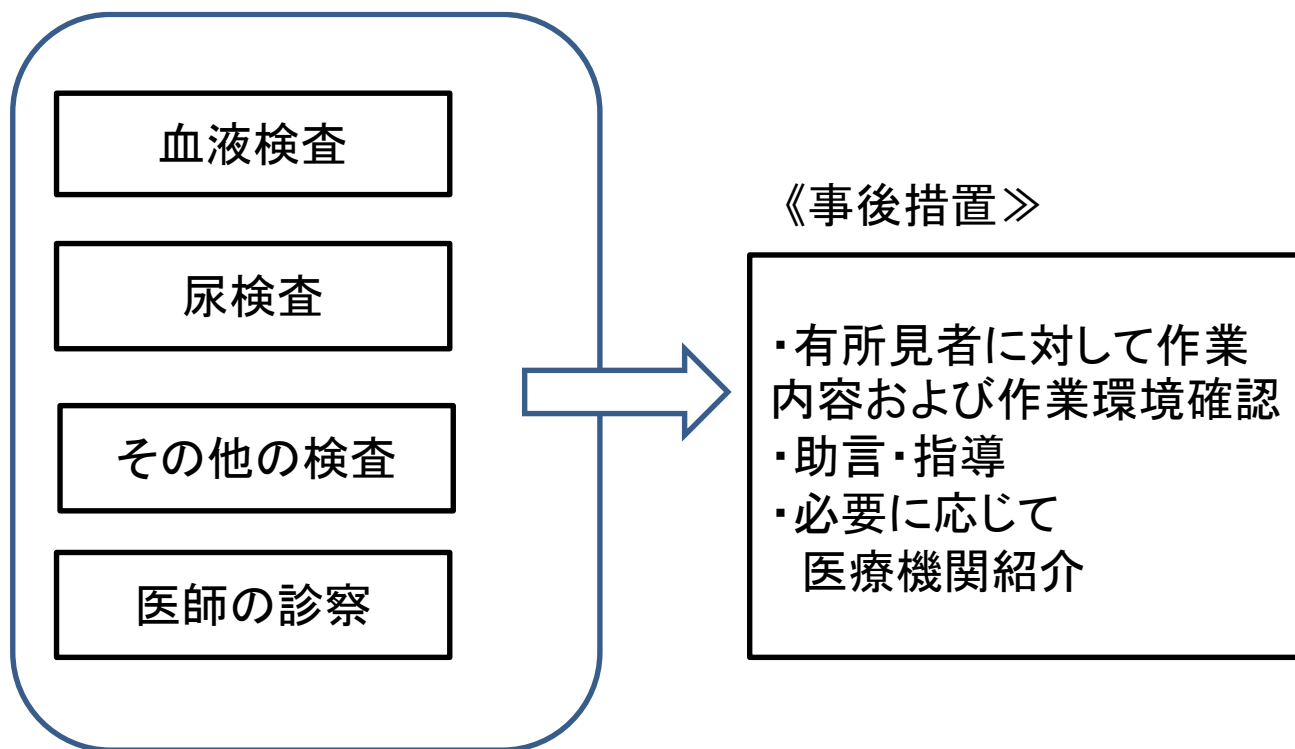
	対象者数(人)	実施医療機関別人数			受診率(%)
		本学(人)	外部医療機関(人)	計(人)	
常盤台地区	1,145	815	91	906	79.1
附属学校	159	105	17	122	76.7
計	1,304	920	108	1028	78.8

3) 雇い入れ健康診断受診状況

	実施医療機関別人数		
	本学実施(人)	外部医療機関(人)	計(人)
常盤台地区	63	5	68
附属学校	4	2	6
計	67	7	74

特殊健康診断

1) 実施の流れ



《学内に契約業者が入り、健康診断を実施。有所見者に対して保健管理センター医師が作業内容および作業環境を確認し、助言・指導を行う。必要に応じて、外部医療機関紹介》

2) 実施状況－教職員

		受診者数(人)	有所見者数(人)	有所見率(%)	有害物質の曝露による 又は、その疑い(人)
粉塵検診	前期	0	0	0.0	0
	後期	0	0	0.0	0
	計	0	0	0.0	0
電離放射線	前期	5	0	0.0	0
	後期	1	0	0.0	0
	計	6	0	0.0	0
鉛検診	前期	0	0	0.0	0
	後期	0	0	0.0	0
	計	0	0	0.0	0
有機溶剤検診	前期	17	2	11.8	0
	後期	16	3	18.8	0
	計	33	5	15.2	0
特定化学物質検診	前期	51	3	5.9	0
	後期	48	6	12.5	0
	計	99	9	9.1	0
指導勧奨による 特殊健康診断 (労基署報告件数)	行政通達検診	前期	1	0	0.0
		後期	1	0	0.0
		計	2	0	0.0
	行政通達(VDT)検診	前期	9	0	0.0
		後期	5	0	0.0
		計	14	0	0.0
その他の健康診断	前期	20	0	0.0	0
	後期	22	0	0.0	0
	計	42	0	0.0	0
石綿検診	前期	0	0	0.0	0
	後期	0	0	0.0	0
	計	0	0	0.0	0
特定業務健診	前期				
	後期	17	6	35.3	0
	計	17	6	35.3	0
合計	前期	103	5	4.9	0
	後期	110	15	13.6	0
	計	213	20	9.4	0

※その他の健康診断：アンモニア・フェノール・酸・病原体取扱者

実施状況－学生

		受診者数(人)	有所見者数(人)	有所見率(%)	有害物質の曝露による 又は、その疑い
粉塵検診	前期	10	0	0.0	0
	後期	3	0	0.0	0
	計	13	0	0.0	0
電離放射線	前期	65	3	4.6	0
	後期	33	3	9.1	0
	計	98	6	6.1	0
鉛検診	前期	0	0	0.0	0
	後期	0	0	0.0	0
	計	0	0	0.0	0
有機溶剤検診	前期	163	2	1.2	0
	後期	150	6	4.0	0
	計	313	8	2.6	0
特定化学物質検診	前期	383	5	1.3	0
	後期	326	4	1.2	0
	計	709	9	1.3	0
指導勧奨による 特殊健康診断 (労基署報告件数)	行政通達検診	前期	21	0	0.0
		後期	15	1	6.7
		計	36	1	2.8
	行政通達(VDT)検診	前期	51	0	0.0
		後期	49	0	0.0
		計	100	0	0.0
その他の健康診断	前期	214	0	0.0	0
	後期	185	1	0.5	0
	計	399	1	0.3	0
石綿検診	前期	0	0	0.0	0
	後期	0	0	0.0	0
	計	0	0	0.0	0
特定業務健診	前期				
	後期	157	18	11.5	0
	計	157	18	11.5	0
合計	前期	907	10	1.1	0
	後期	918	33	3.6	0
	計	1825	43	2.4	0

※その他の健康診断：アンモニア・フェノール・酸・病原体取扱者

3. 産業医面談

1) 超過勤務者面談実施状況

産業医受診予定者

- ①超過勤務時間が月 90 時間を超える場合
- ②超過勤務時間が月 60 時間を超える月が 2 カ月連続した場合
- ③超過勤務時間が月 45 時間を超える月が 5 カ月連続した場合

実施月	受診者
4月(H30 3月期)	9
5月(4月期)	6
6月(5月期)	2
7月(6月期)	0
8月(7月期)	0
9月(8月期)	0
10月(9月期)	0
11月(10月期)	1
12月(11月期)	0
H31 1月(H30 12月期)	0
2月(H31 1月期)	1
3月(H31 2月期)	4
合計	23

2) 職場復帰支援面談実施状況

	月別回数
4月	2
5月	3
6月	2
7月	5
8月	5
9月	4
10月	3
11月	4
12月	2
H31 1月	3
2月	1
3月	2
合計	36

IV. 診療・カウンセリング業務

外来担当表

	時間	月 Monday	火 Tuesday	水 Wednesday	木 Tursday	金 Friday
内科・一般診療 General clinic	09:00-12:30	大重 医師 Ohshige K, MD	大重 医師 Ohshige K, MD	藤川(哲) 医師 Fujikawa T, MD	藤川(哲) 医師 Fujikawa T, MD	藤川(哲) 医師 Fujikawa T, MD
	14:00-15:30	大重 医師 Ohshige K, MD	大重 医師 Ohshige K, MD	藤川(哲) 医師 Fujikawa T, MD	藤川(哲) 医師 Fujikawa T, MD	
心療内科・精神科診療 Mental clinic (予約制)	10:00-13:00			藤川(美) 医師 Fujikawa M, MD (月1回)		石井 医師 Ishii M, MD
	14:00-17:00	川越 医師 Kawagoe Y, MD (月 1 回)				石井 医師 Ishii M, MD
心理カウンセリング Counsering (予約制)	10:00-13:00	杉山 臨床心理士 Sugiyama, Therapist	杉山 臨床心理士 Sugiyama, Therapist	福榮 臨床心理士 Fukue, Therapist	福榮 臨床心理士 Fukue, Therapist	
		生田 臨床心理士 Ikuta, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist
	14:00-17:00	杉山 臨床心理士 Sugiyama, Therapist	杉山 臨床心理士 Sugiyama, Therapist	福榮 臨床心理士 Fukue, Therapist	福榮 臨床心理士 Fukue, Therapist	
		生田 臨床心理士 Ikuta, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist

1. 一 般 診 療

1) 月別診療件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
学生	51	64	59	50	22	21
職員	13	14	22	13	15	19
	64	78	81	63	37	40

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	50	40	25	47	26	5	460
職員	11	16	16	16	7	5	167
合計	61	56	41	63	33	10	627

2) 疾患別診療件数

		一 般 診 療																					
疾患		内科				外科						耳鼻咽喉科	眼科	歯科	皮膚科	産婦人科	泌尿器科	その他	精神科・精神相談	健康相談	合計	外部医療機関紹介	休養
		呼吸器系	循環器系	消化器系	その他	創傷	捻挫・打撲	骨折・脱臼	熱傷	腰痛・関節痛	その他												
利用者																							
学部生	男	8	0	2	18	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3		1	34	60	0	128	51	17
	女	5	0	2	8	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	6	0	1	21	1	48	8	39
	計	13	0	4	26	0	0	0	1	1	1	3	0	0	3	6	1	35	81	1	176	59	54
大学院生	男	17	3	2	27	2	0	0	0	3	0	2	0	0	0		2	2	8	2	70	10	5
	女	9	1	3	8	1	0	0	0	0	2	4	1	0	0	5	1	1	23	0	59	7	13
	計	26	4	5	35	3	0	0	0	3	2	6	1	0	0	5	3	3	31	2	129	17	18
教職員	男	5	2	2	3	0	0	0	0	1	2	1	2	0	0		0	5	24	1	48	7	7
	女	3	0	0	11	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3	12	1	34	7	2
	計	8	2	2	14	1	0	0	0	2	2	3	2	0	0	0	0	8	36	2	82	14	9
合 計		47	6	11	75	4	0	0	1	6	5	12	3	0	3	11	4	46	148	5	387	90	81

2. 精神科診療・心理カウンセリング

1) 月別診療件数

	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月
学生	常勤医師	0	1	2	1	0	0
	非常勤 精神科医	7	10	14	7	9	6
	(小計)	(7)	(11)	(16)	(8)	(9)	(6)
職員	常勤医師	0	1	0	2	0	4
	非常勤 精神科医	2	1	2	3	5	4
	(小計)	(2)	(2)	(2)	(5)	(5)	(8)
合計		9	13	18	13	14	14

	担当	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	常勤医師	0	0	0	0	1	0	5
	非常勤 精神科医	11	12	5	13	8	6	107
	(小計)	(11)	(12)	(5)	(13)	(9)	(6)	(112)
職員	常勤医師	0	0	1	0	0	1	9
	非常勤 精神科医	2	3	2	3	1	0	27
	(小計)	(2)	(3)	(3)	(3)	(1)	(1)	(36)
合計		13	15	8	16	10	7	148

2) 月別カウンセリング件数

	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月
学生	常勤 カウンセラー	32	50	39	51	16	27
	非常勤 カウンセラー	86	94	95	119	5	60
	(小計)	(118)	(144)	(134)	(170)	(21)	(87)
職員	常勤 カウンセラー	7	3	2	5	6	2
	非常勤 カウンセラー	2	0	1	5	1	1
	(小計)	(9)	(3)	(3)	(10)	(7)	(3)
合計		127	143	137	180	28	90

	担当	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	常勤 カウンセラー	51	50	43	56	45	40	500
	非常勤 カウンセラー	112	121	107	107	107	88	1101
	(小計)	(163)	(171)	(150)	(163)	(152)	(128)	(1601)
職員	常勤 カウンセラー	1	2	3	3	0	1	35
	非常勤 カウンセラー	0	4	1	1	5	2	23
	(小計)	(1)	(6)	(4)	(4)	(5)	(3)	(78)
合計		164	177	154	167	157	131	1679

VI. 研究業績

1. 著書・論文

- ① Kobayashi Y, Ishiguro H, Fujikawa T, Kobayashi H, Sumida K, Kagimoto M, Okuyama Y, Ehara Y, Katsumata M, Fujita M, Fujiwara A, Saka S, Yatsu K, Hirawa N, Toya Y, Yasuda G, Umemura S, Tamura K. Atherosclerosis of the carotid bulb is associated with the severity of orthostatic hypotension in non-diabetic adult patients: a cross-sectional study. Clin Exp Hypertens. 2018 Apr 19:1-8.
- ② Asuka Sawai, Rino Igarashi, Miyu Saitou, Narumi Enami, Shinya Sawai, Tetsuya Fujikawa, Katsumi Takahashi and Osamu TOCHIKUBO. Relationship between the risk of metabolic syndrome and the lifestyle index measured by the PULSESENSE wristwatch-type stress-calorie monitor in middle-aged subjects Gazzetta Medica Italiana Archivio per le Scienze Mediche 2018 June;177(6):301-10
- ③ Shota Suzuki, Midori Shino, Tetsuya Fujikawa, Yoko Itoh, Eiko Ueda, Tatsuo Hashimoto, Tadashi Kuji, Naoyuki Kobayashi, Toshimasa Ohnishi, Nobuhito Hirawa, Kouichi Tamura, and Yoshiyuki Toya. Plasma cystine levels and cardiovascular and all-cause mortality in hemodialysis patients Ther Apher Dial. 2018 Oct;22(5):476-484.
- ④ 杉山明子. インターネットが与える影響—心理学的知見からの概観—(単著) 横浜国立大学教育相談・支援総合センター研究論集 (18), 19-35, 2018-12-15

2. 学会発表等

- ① 鈴木 将太、篠 みどり、藤川 哲也、伊藤 陽子、植田 瑛子、畛田 一司、橋本 達夫、涌井 広道、久慈 忠司、小林 直之、大西 俊正、平和 伸仁、戸谷 義幸、田村 功一. 透析患者における生命予後と分岐鎖アミノ酸との関連に関する検討 日本腎臓学会学術総会 第 61 回 新潟 2018.06
- ② 大城 光二、涌井 広道、小豆島 健護、畛田 一司、小林 竜、白 善雅、春原 浩太郎、金口 翔、山田 貴之、山地 孝弘、藤川 哲也、戸谷 義幸、田村 功一. 保存期 CKD 患者に対するエポエチンベータペゴルとダルベポエチンアルファの血圧に関する比較検討 日本腎臓学会学術総会 第 61 回 新潟 2018.06
- ③ 久慈 忠司、藤川 哲也、金田 朋子、西原 正博、柴田 和彦、薩田 英久、井元 清隆、川田 征一、高口 直明、平和 伸仁、戸谷 義幸、田村 功一. 血液透析患者の低用量鉄投与法と標準量鉄投与法の比較 日本透析医学会学術集会・総会 第 63 回 神戸 2018.06
- ④ 河野 知之、藤川 哲也、久慈 忠司、川井 有紀、植田 瑛子、篠 みどり、佐藤 陽、三橋 洋、小川 成

章、小田 寿、山口 聡、大西 俊正、平和 伸仁、戸谷 義幸、田村 功一. CERA 投与下のヘプシジン
変動に対する鉄剤投与の影響 日本透析医学会学術集会・総会 第 63 回 神戸 2018.06

- ⑤ 田村 功一, 小豆島 健護, 畛田 一司, 小林 竜, 大城 光二, 藤川 哲也, 涌井 広道. 和漢薬の有効性のエビデンス:最新の臨床試験から 肥満高血圧に対する防風通聖散の効果に関する基礎的・臨床的研究 和漢医薬学会学術大会要旨集 (和漢医薬学会) 35 74 2018 年 09 月
- ⑥ Kagimoto Minako, Kobayashi Yusuke, Fujikawa Tetsuya, Iwamoto Tamio, Umemura Satoshi, Hirawa Nobuhito, Toya Yoshiyuki, Sugano Teruyasu, Ishigami Tomoaki, Ishikawa Toshiyuki, Tamura Kouichi. OMEGA-3 FATTY ACID HAS EFFECT ON IMPROVEMENT OF PERIPHERAL ARTERY DISEASE IN CORRELATION WITH DEGREE OF LOWERING REMNANT-LIKE LIPOPROTEIN CHOLESTEROL IN HEMODIALYSIS PATIENTS WITH DYSLIPIDEMIA: A SUB-STUDY OF THE RANDOMIZED CONTROLLED TRIAL International Society of Hypertension Scientific Meeting, Beijing Sep 2018
- ⑦ Morita Ryutaro, Kobayashi Yusuke, Kobayashi Hideo, Fujikawa Tetsuya, Iwamoto Tamio, Hirawa Nobuhito, Toya Yoshiyuki, Umemura Satoshi, Tamura Kouichi. IMPAIRED SYSTOLIC BLOOD PRESSURE RECOVERY AFTER STANDING IS ASSOCIATED WITH ARTERIAL STIFFENING AND BARORECEPTOR DYSFUNCTION IN PATIENTS WITH LIFE-STYLE RELATED DISEASE International Society of Hypertension Scientific Meeting, Beijing Sep 2018
- ⑧ Nishizawa Fumika, Kobayashi Yusuke, Kobayashi Hideo, Fujikawa Tetsuya, Iwamoto Tamio, Hirawa Nobuhito, Toya Yoshiyuki, Umemura Satoshi, Tamura Kouichi. CARDIO-ANKLE VASCULAR INDEX PREDICTS INCIDENCE OF CHRONIC KIDNEY DISEASE IN PATIENTS WITH LIFE-STYLE RELATED DISEASE International Society of Hypertension Scientific Meeting, Beijing Sep 2018
- ⑨ Suzuki Shota, Kobayashi Yusuke, Kobayashi Hideo, Fujikawa Tetsuya, Iwamoto Tamio, Hirawa Nobuhito, Toya Yoshiyuki, Umemura Satoshi, Tamura Kouichi. LOWER BMI DESPITE OF HAVING ABDOMINAL OBESITY IS A RISK OF SARCOPENIC OBESITY WHICH SHOWS HIGH ARTERIAL STIFFNESS IN PATIENTS WITH LIFE-STYLE RELATED DISEASE: A CROSS SECTIONAL STUDY International Society of Hypertension Scientific Meeting, Beijing Sep 2018
- ⑩ Kobayashi Yusuke, Kobayashi Hideo, Fujikawa Tetsuya, Iwamoto Tamio, Hirawa Nobuhito, Toya Yoshiyuki, Umemura Satoshi, Tamura Kouichi. HIGH PREVALENCE OF SARCOPENIA IN PERIPHERAL ARTERY DISEASE PATIENTS: A CROSS-SECTIONAL STUDY OF PATIENTS WITH LIFE-STYLE RELATED DISEASES International Society of Hypertension Scientific Meeting, Beijing Sep 2018
- ⑪ Nicho Naoki, Kobayashi Yusuke, Kobayashi Hideo, Fujikawa Tetsuya, Iwamoto Tamio, Hirawa Nobuhito, Toya Yoshiyuki, Umemura Satoshi, Tamura Kouichi. ATHEROSCLEROSIS OF THE CAROTID BULB IS ASSOCIATED WITH SEVERITY OF ORTHOSTATIC HYPOTENSION ALONG WITH BARORECEPTOR DYSFUNCTION ESPECIALLY IN OLDER PATIENTS AND

PATIENTS WITH SEVERE ATHEROSCLEROSIS International Society of Hypertension
Scientific Meeting, Beijing Sep 2018

- ⑫ 杉山明子. 包括システムによるロールシャッハテスト学会第 24 回大会（大会事務局）2018 年 6 月 23 日・24 日 福島大学
- ⑬ 杉山明子. 日本心理学会第 82 回大会「新・大人になることへの意識尺度」（共同発表：齋藤 彩，杉山 明子，井上 果子）2018 年 9 月 25 日～27 日 仙台国際センター

3. 研究助成金

横浜国立大学地域連携推進機構 Next Urban Lab 採用

「支える人を支えるプロジェクト」共同研究者：井上果子（教育学部）・杉山明子（保健管理センター）・田村和子（男女共同参画センター）

VII. その他

1. 講義・講演等

講義

(学内)：

藤川哲也. 医療 ICT「情報通信技術が培う近未来医療」人体の仕組みと機能

大重賢治, 藤川哲也, 福榮太郎, 杉山明子. 「健康の科学」：秋学期 水曜日 4 限

(学外)：

大重賢治. 指導救命士養成科講義「救急業務と統計学」横浜市消防局 救急救命士養成所

大重賢治. 面接授業「病気の予防と疫学」放送大学 神奈川学習センター

大重賢治. 疫学講義「スクリーニング」横浜市立大学医学部医学科

講演：

藤川哲也. 平成 30 年、部活動リーダーズ研修 「身体管理について」

杉山明子. NUL「支える人を支えるプロジェクト」による保育園責任職対象の講演会の企画及び実施《精神分析的視点から考える保育園での困りごと》教育学部 7 号館

2. 学内委員会等

大重賢治. 労働安全衛生委員会

大重賢治, 藤川哲也, 杉山明子. 労働安全衛生委員会メンタルヘルス部会

大重賢治. 人を対象とする医学系研究倫理専門委員会

藤川哲也. 人を対象とする非医学系研究倫理専門委員会

大重賢治. 遺伝子組換え実験安全専門委員会

杉山明子. 教育学部附属学校部会「SCSV 連絡研究協議会」

杉山明子. 教育学研究科教育相談・支援総合センター 研究論集編集委員

藤川哲也. 国立大学保健管理施設協議会 学生の健康白書に関する委員会, フィジカルヘルス委員会

藤川哲也. 国立大学保健管理施設協議会倫理審査委員会

藤川哲也. 公益社団法人 全国大学保健管理協会 研究倫理委員会

横浜国立大学保健管理センター

平成 31 年 3 月 31 日 発行